



梶原 一美 議員

健康増進策

Q

積極的な健康増進策を

A

今後も健康増進を目的とした運動事業に取り組む

梶原 町民体育大会をなくし、それに代わって運動月間が設定されたが、その背景には運動や二丁の多様化があると考え

る。町民は運動についてどのように考えているか。

町長 アンケートによると、運動頻度には格差が見られている。

梶原 一日30分以上運動をしている住民の割合が37・1%となっているが十分と考えるか。
町長 運動がまだ十分ではない

と考える。

梶原 それは既存の施設では運動や二丁の多様化を捉え切れていないからではないか。二丁の多様化に対応するために町営プールを造る考えはないか。
町長 温水の町営プールは高額。今後、具体的に詳細にわたって調査を進めたい。

水泳の民間委託

A

施設の管理と民間委託のメリット、デメリットを十分に検討していきたい

Q

水泳授業の民間委託について問う

梶原 令和4年9月議会では検討委員会を立ち上げ検討すると示された。令和5年6月の議会では、「民間スイミング業者への委託の検討を始め、学校や業者にヒアリングし、委託は可能だと判断した」と答えている。学校や民間スイミング業者にヒアリングしたということが検討会の中身なのか。

教育長 学校、業者へのヒアリングに加えて、教育委員会、また校長会、主幹教諭会で協議、検討を行った。

梶原 具体的にどのような項目について検討がなされたのか。
教育長 大規模改修、または建て直した場合、水泳委託した場合の想定されるメリット、デメリット等について検討を行っ

た。

梶原 具体的な検討の中身が議事録の中では示されていないため様々な懸念が残る。建設費とコストの面では、3校のプールを一つにする、あるいは中学校を含めて4校のプールを一つにした場合かかる維持費はむしろ安くなるのではないかと、こういった場合どれぐらいになるという試算はしたのか。

教育長 今年度は実証期間なので両小学校の実施が終わったところで、建設費も含めて、水泳の委託をどうするのかについて検討していきたい。



老朽化した中学校プール